



(特定非営利活動法人)

NPO法人 ワンニャン会

会 報 第 14 号 2020.9

「うちの子いちばん写真展」を開催して

中本宣子

2月16日、各家庭から応募していただいたペットの写真展を開催しました。NPOサポートセンター、神島高校写真部、熊野高校サポーターズリーダー(敬称略)の協力を頂いてのイベントでした。

巷ではコロナがじわじわと拡がり、当日は大雨の予報という中、開催しても大丈夫かなあ、、、と不安を抱えつつ念の為にマスク、消毒スプレーなども準備しての開催。

今から思えば あの時期が少しでもずれていたらイベントは中止せざるを得なかった。無事開催できたことに感謝です。

集まってきたペットの写真は 愛らしいもの、ユーモアのあるもの、芸術的なものなど、飼い主さんの愛情がたっぷりの写真ばかり大小様々400点以上!!それをサポーターズリーダー、一般ボランティアさん達の作ってくれた装飾物でデコレーションし台紙に貼る作業には丸二日、そして会場設営にもほぼ一日の時間が。沢山のボランティアさんの協力がなければとてもできない作業量でした。

神島高校写真部の地域猫写真コーナーも会場の一面を大きく飾りました。冬の寒い中、何回も地域猫の現場に足を運び撮ってくれた外に生きる猫たちの写真。(この時から現在20年8月までのあいだに二匹死にました)

他にも仔犬・仔猫を育てる県のミルクボランティアの様子、地域猫の現場からのコーナー、和歌山県で活動するグループの紹介など、様々な写真が会場に貼り出されました。

ボロボロの姿で保護され幸せな飼い猫になった子達の写真も、、、。

私達の思いがいっぱい詰まった写真展。

展示コーナーだけではなく 災害時にペットと避難する ための講演会や 飲食コーナー、 作品販売コーナーも同時開催の 盛りだくさんのこのイベントは 悪天候にも関わらず 沢山の皆様の来場が。久し振りにお目にかかれるワンニャン会から犬や猫をご家庭に迎えてくれた飼い主さんや遠方から来てくださった方もいて、本当に嬉しかったです。

今までご縁をいただいた方々に改めて感謝した一日でした。



一位

出会いの不思議

寺本祥子

ご縁があってワンニャン会とお近づきになり、ここ最近、ごくごくたまにボランティアというのはおこがましいくらいのささやかなお手伝いをさせてもらうようになりました。

ワンニャン会とはもう 20 年以上前、父が亡くなり一人暮らしになった母の家に、遠方に離れ暮らしていた娘の私が帰省していたおりに、古い家なのでネズミが出現！大嫌いで怖がる私のパニックっぷりに、これはいけない、猫を飼わねば！と迅速な母の決断で、多分まだ会が活動をスタートしたばかり頃のワンニャン会にお願いしてそれはそれは可愛くお利口な（うちの子いちばん！だもんで・・・）女の子のキジ猫をお世話していただきました。

彼女は町内でも評判の聡明な美人猫に成長（うちの子いちばん！だもんで・・・）して、どれだけ母の心のささえになり日々の潤いを与えてくれた事か。



5 年前に私が母のもとにリターン移住で同居を始めて数ヶ月後に、その様子を見届け安心したかのように（実際は、最後の時期は闘病でかなり苦しい思いをさせたのですが）毎晩一緒に寝ていた母のベッドの中で、ゆっくり目を閉じ 19 年の生涯を終えました。

母が老齢に差ししかかっても豊饒と明るく元気でいられたのは、彼女の存在と毎日寄



りそって過ごしてくれた時間のおかげだと、今まだ感謝の気持ちが色あせません。

最近はワンニャン会で保護猫のお見合いや譲渡に立ち合う助手のような事をさせてもらっており、手のひらに乗るくらいの子猫ちゃんがどの子もただもう可愛くて可愛くて、どうかいい飼い主さんに気に入ってもらえますようにとドキドキでその場に同席。幸い、私が見てきたケースはほとんど即決で大事にしてくれそうなお母さんたちに連れて帰ってもらう場合ばかりで、安心。可愛がってもらってね、幸せにね、と嬉しくてなりません。

出会いは不思議なものです。

人と人同士の出会いも勿論、私達母娘とワンニャン会との出会い・うちの子になった猫たちとの出会い・そして事務局の一室で巡り合う初めての出会い・・・必ずしも全て良い結末になるとは限りませんが、ちゃんと保護され新しい家族に迎えられる出会いの場を生み出しているって、すごい事だと思っています。きっと、多分、かもしれませんが、地域猫のままで厳しい状況を生きてゆくよりは猫たちにとって人間の私からすればすごく幸せな未来です。そして、犬や猫に愛を注ぎ、彼・彼女たちからも多くの愛をもらう人間もまた。

我々の力は小さく、してあげたい事のほんの一握りも実は出来ていないかもしれませんが幸せな未来を紡ぎ出す出会いを、ワンニャン会はずっとやってきたのだなあと

出会いの奇跡を作り出せる活動を続けているスタッフを心から誇りに思っています。



環境賞をいただきました！

中本 宜子

県庁のYさんからの一本の電話。

「ワンニャン会が環境賞を受賞しましたよ！授賞式来れますか？」

「え？環境賞？えーっと？」とアタフタしていたら「こちらで推薦したのが通ったんですよ！」とのお言葉。

今まで和歌山県の動物愛護の感謝状はもらった事もあるけれど、「環境」という分野で賞をいただける？

お話によると長年の野良猫の不妊手術に対する取り組みや地域猫の普及啓発活動で評価されたとのこと。勿論「喜んで行かせて頂きます！」

令和元年6月7日、バケツをひっくり返したような土砂降りの中、和歌山市に行きました。県庁、生活衛生課で職員の方々に拍手で迎えられ嬉しいような恥ずかしいような、。

国歌斉唱、県歌斉唱から始まる授賞式は生まれて初めてで緊張の一瞬でした。

式典のあと知事との記念写真、レッドカーペットが敷き詰められ、生花が華やかに飾られた部屋を、まじまじと見渡してしまいました。

環境賞をもらって一番嬉しかったのは地域猫を現場で頑張ってくれている方々が喜んでくれたこと。自分たちの活動が、猫のためだけでなく地域における、猫の糞害や、鳴き声などの改善に役立っていることへの評価は本当に嬉しいものでした。

まるで、ご褒美のような賞をいただきました。

毎日の、猫のご飯やり、糞の処理などを黙々と続けてくれている地域猫に関わる方たちへの賞でもありました。

※環境賞

（環境保全に関する実践活動が県民の規範となる団体を表彰その活動事例を広く県民に紹介することにより環境保全に関する意識を高揚し行動の促進を図ることを目的とする）

今年はアドベンチャーワールドが大賞を受賞しました。



命をお金で買わないで

は一ちゃん

真夏の8月8日（土）9日（日）山梨県から田辺市の紀南文化会館に犬・猫の生体展示移動販売が来ました。

2020年6月動物愛護法が改正され移動販売は出来なくなるはずだったのに、法律の抜け穴をくぐりぬけて。

昨年と同じ業者でした。なぜ何度も田辺市に来るのか？それは買う人がいるからです。この町はたくさんの人が買ってくれると業者が思っているからです。

移動販売は免疫力が低く体力のない仔犬・仔猫を遠方から立つことも出来ないような狭いケージに入れ、何時間もかけて販売地に運んできます。当然体調をくずす仔や、最悪亡くなってしまう仔もいるでしょう。

売れ残った仔はまた何時間もかけて車に詰め込まれ、次の販売地か業者の所在地に帰ることになります。生後2か月もたっていない幼い仔たちにとってこれほどひどい扱いはないでしょう。

ペットショップよりはるかに安い値段で売っていて（昨年の販売時には無料という仔もありました）安易な気持ちで買っていく、それはまた安易な飼育放棄につながります。



劣悪な環境下に生まれた仔たちは、パルボなどの感染症を持っている可能性もあります。「ワクチンを打っていないから、感染症がうつらないように、販売用ケージをラップでぐるぐる巻きにして展示している」と言われた時は異常だと思いました。もし、一匹でもパルボなどに感染している仔がいたら、来客の手や衣類について外に出てしまう。もしその人の家に犬や猫がいたら……。考えるだけで恐ろしくなります。

生後7週齢（2021年6月からは8週齢）たっているかどうかとも怪しいぐらいの幼い仔たち、今回もストレスからなのか病気なのかわかりませんが、血便の出ている仔がいました。

この仔のように体調不良の仔を買った人は、相談したくても業者はもう販売地を後にしています。重篤な病気を持っていても泣き寝入りです。「返品してください」と言われて「では送り返します」とどれだけの人と言えるのでしょうか？目の前で苦しんでいる小さな命を非情にも手放せる人がどれだけいるのでしょうか？業者の思うつぼです。

仔犬工場（パピーミル）という言葉を知っていますか？ペットショップや移動販売で売られている仔たちの繁殖場です。ここにいる親犬・親猫のことを考えたことがありますか？

「犬や猫が好き」「私も飼ってる」という人たちがどれだけ親犬・親猫の悲惨な状況を知っているのでしょうか。私も自分が犬を飼うまで知りませんでした。こんなにカワイイ仔なんだから、血統書付きなんだから、お父さんもお母さんも大切に飼育されていると思っていました。でも現実とは違います。母体のことなど全く考えず、産める間は何度でも産ませる。産めなくなったら食事も与えず死ぬのを待つ。ブリーダー廃業などでレスキューされた親たちの姿は、これが人間のすることか！と目を疑うような有様です。

今回、地元の愛護団体が移動販売の事を伝えた LIA という団体が、フェイスブックやInstagramに記事をあげてくれたことで、全国のたくさんの方が和歌山県や紀南文化会館に抗議のメールや電話をしたと聞きました。SNS 上で拡散されたことによって移動販売や劣悪な環境に置かれている動物の事をはじめて知った方もいると思います。一人でも多くの人にペットの現状を知ってもらい、買わない人を増やすことで少しずつ生体販売業者減らすことが出来ると思います。

視察に来られていた和歌山県の職員が「殺処分ゼロを目指している和歌山県には飼い主を探している犬や猫がたくさんいる。和歌山県には来てもらいたくな

い。」と業者に言ってくれたそうです。紀南文化会館の職員も販売状況の確認をされていました。複数の愛護団体も会場に入り監視をしていました。「和歌山県めんどくさいな、買う人少ないな、もう行かんところ」と思ってくれたらいいのですが、和歌山県だけじゃなく日本中で諸外国のようにペットショップ等での生態販売や移動展示販売がなくなることを願います。



命を買わないという**選択**。

犬猫の移動販売。
長距離移動、狭い檻の中での展示のストレスで死亡する事も少なくない。
恐ろしい感染症を各地でばらまく可能性がある。
安く大量に販売されるため安易な飼育が誘発される。
購入後の病気やトラブルへのフォローを受けることが難しい。

**この事実を知っても
買いに行きたいと思いますか？**

買う人がいなければ移動販売はなくせます。犬猫と暮らしたいと思ったら私たちにご連絡下さい。あなたを持っている子たちはたくさんいます。

NPO法人ワンニャン会 和歌山県田辺市天神崎 Mail/wannyankai@wannyankai.com
どらごんワンコの会 Mail/chainsaw@mb.aikis.or.jp
動物愛護団体 Wan life <https://wanlife-rescueteam.com/> TEL/090-4643-0656

※ワンライフさん作成資料

今回紀南地方の三団体が「命を買わない選択」と題して初めて一緒に声を上げました。
どうか犬猫と暮らしたいと思ったら私たちにご連絡下さい。
あなたに救える命が今ここにいます。
販売業者から購入しないことは不幸な動物を減らすことになります。買う人がいるから売る人がいます。
そしてどうかこのことを周りの人々に伝えてください。

＜ワンニャン会の譲渡条件が変わりました＞
～犬や猫を家族に迎えたい方～

- ・生涯家族の一員として責任と愛情をもって育てていくこと
- ・ひとり暮らしや高齢の方は飼育できなくなった場合、後を引き継いでくれる方がいること
- ・転居や経済的事情など安易な理由で終生飼育を放棄しないこと
- ・飼育が困難になった場合、捨てたり保健所に持ち込まないこと
- ・家族全員が保護猫（犬）を迎え入れることに賛成していること
- ・ペット可の住宅に住んでいること（自宅を確認させていただくことがあります）
- ・猫の場合完全室内飼育で屋外に出さないこと
- ・犬の場合繋留飼育（つないで飼う）をしないこと
- ・小さなお子様がいらっしやらないこと
- ・仔猫（仔犬）の場合はお留守番の時間が長くないこと
- ・仔猫は病気の確定診断（エイズ・白血病等）ができないため、状態の急変もありうる旨了承していただけること
- ・ワンニャン会からの追跡調査に応じていただけること
- ・住所・電話番号が変わった場合は連絡していただけること
- ・当会が不適切な飼育状態と判断した場合返還に応じること
- ・ワクチン等の医療処置をすること
- ・運営費・医療費等として3,000円をご寄付いただけること
- ・不妊去勢手術が済んでいない仔は必ず手術をうけること（譲渡時に10,000円お預かりし、手術が確認できたらお返しします）
- ・多頭飼育の場合は譲渡をお断りする場合があります



～犬や猫を保護された方～

- ・動物病院で健康診断を受けること
 - ・検便
 - ・血液検査
 - （生後 6 か月以上の猫はエイズ・白血病等のウイルス検査含む）
 - ・ノミ・ダニ・シラミ・耳ダニ検査
- ・上記検査で異常があった場合は適切な処置をおこなうこと
- ・譲渡の際、家で使っていた猫砂・与えていたフードを持ってくること
- ・先記「家族に迎えたい方」の条件をご理解いただける方



※ワンニャン会は保護された方と
家族に迎えたい方との橋渡しをさせていただきます。
原則保護はしていません。

和歌山県「地域・ひと・まちづくり補助事業」を受けて

2020年度和歌山県「地域・ひと・まちづくり補助事業」を受けられることになり、当会では今後いくつかの活動を予定しています。

※ボランティア募集

活動の幅をさらに広げるため下記にあるような色々なスタッフを必要としています。興味のある方、ぜひご連絡お待ちしております。

動物に関わるボランティア募集!!

ワンニャン会では活動のお手伝いをしてくれる仲間を待っています。
出来る範囲で大丈夫です。
まずはお気軽にご連絡下さい。

- 事務作業
チラシ作りやパソコン入力等
- イベントのお手伝い
- 地域猫活動
 - 不妊手術の為の捕獲・搬送
 - えさやり等のお世話
- ドッグラン整備
- 犬猫一時預かり

※犬猫各種相談会開催

毎週日曜日開催。要予約。お電話でご予約下さい。

野良猫不妊手術を考えている方には各種アドバイス・捕獲檻・搬送用ケージの無料貸し出しも行います。高齢者の猫問題の相委員談も受け付けます。

※災害時のペット問題講演会開催

日時 2020年10月25日【日】13時～15時

場所 市民総合センター

内容 講演会(犬のデモンストレーションあり)

講師 和歌山県動物愛護推進協議会委員 石田千晴先生

当日来場者の犬猫入場は不可。

事業報告

～通年事業～

※和歌山県地域猫対策支援事業

※飼い主のいない猫の不妊、去勢手術事業

※犬と猫の譲渡、飼い方相談

※ドッグラン「リン」運営

～2018年度活動内容～

4月14日 カトリック紀伊田辺協会バザー 会の活動紹介・チャリティバザー

4月21日 田辺商工祭 会の活動紹介・チャリティバザーバザー・ふれあい活動

8月 8日 ヤーヤー祭り 会の活動紹介・チャリティバザーバザー

8月17日 わうくらす 上秋津小学校

8月18日 文里のお祭り 会の活動紹介・チャリティバザー

9月12日 市民活動祭り 会の活動紹介・チャリティバザー

11月 3日 近野まるかじり 会の活動紹介・チャリティバザー

11月10日 農林水産祭り 会の活動紹介・チャリティバザー

11月17日 生涯活動フェスティバル 会の活動紹介

11月30日 和歌山電工㈱イベント「ICT CONVERGENE」チャリティバザー

1月16日 動物愛護センター譲渡会

1月28日 カトリック紀伊田辺協会バザー 会の活動紹介・チャリティバザー

2月16日 ふれあい文化祭 会の活動紹介・チャリティバザー

3月25日 わうくらす 龍神小学校

和歌山県地域猫対策への支援協力 30か所 のべ300頭程度

野良猫不妊・去勢手術補助 53頭

犬・猫譲渡 犬2頭 猫74頭

～2019年度活動内容～

4月20日 田辺商工祭 会の活動紹介・チャリティバザー
7月27日、28日 買わないという選択 地域猫不妊手術無料相談会・チャリティバザー・猫譲渡会
8月 8日 ヤーヤー祭り 会の活動紹介・チャリティバザー
8月 9日 わくらす 天神児童館
9月29日 市民活動祭り 会の活動紹介・チャリティバザー
10月25日 わくらす 鮎川小学校
10月30日 動物愛護センター譲渡会
11月 3日 近野まるかじり 会の活動紹介・チャリティバザー
11月10日 農林水産祭り 会の活動紹介・チャリティバザー
11月17日 生涯活動フェスティバル 会の活動紹介
2月16日 うちの子いちばん写真展 一般家庭のペット・神島高校写真部による地域猫の写真展・会の活動紹介・チャリティバザー・防災講演会

和歌山県地域猫対策への支援協力 20か所 のべ190頭程度
野良猫不妊・去勢手術補助 68頭
犬・猫譲渡 猫47頭



「紀州ネコ砂」のご紹介



「紀州ネコ砂」とは田辺市龍神村、土木会社経営の川口さんが地元のスギ・ヒノキの間伐材で作ったネコのトイレ材の商品名です。

地元間伐材を使用することで、山の手入れや雇用の促進にもつながればという思いも込めて作られました。この「紀州ネコ砂」の開発にはワンニャン会も協力し、年初より一般モニターを募りアンケート調査も行ってきました。その中の意見でも評判は上々で、特に抜群の消臭効果に驚かされたという声が多く、清潔感のある木の香りがし今まではどうしても取りきれなかったトイレの匂いがほとんど気にならなくなった、ということでした。価格的にもリーズナブルで、燃えるゴミとして処分出来る事も魅力の一つです。

今回この「紀州ネコ砂」の販売を、KW カンパニーさんが窓口になり、始めることになりました。

売上金（経費控除）はワンニャン会に寄付されます。システムトイレ（すのこ式トイレ）用の商品の為、これを機にシステムトイレにチャレンジしてみようという方には、ワンニャン会からお試しのトイレの貸し出しも行っていきます。

「紀州ネコ砂」の詳細は下記の通りです。手入れも楽でリーズナブルな「紀州ネコ砂」をこの機会に試してみませんか？

～紀州ネコ砂～

紀州間伐木材 杉・ヒノキ 100 パーセント使用・龍神産

- | | | |
|------|--|------------------------|
| 容量 | 2.5 リットル (1.4 キロ) | ※袋持参量り売りの場合 1 キロ/400 円 |
| 価格 | 600 円 | 税込み |
| 使用方法 | <ul style="list-style-type: none">・ネコ 1 頭につき 1.5 リットルで約一か月の使用が目安です。・ウンチは毎日スコップなどで取り除いてください。・交換は 1 か月に一度、全入替えしてください。 <p>(使用状態によって補充しながらご使用ください)</p> <ul style="list-style-type: none">・使用後は燃えるゴミとして処分出来ます。 <p>※今後内容量と価格は変わることがあります。</p> | |

ご使用の砂から切り替える際は・・・

抵抗なく使用することも多いですが、よりスムーズに移行させる為に次の方法をお試しください。ネコのウンチを新しいトイレに入れ、自分のトイレという事を分かりやすくする。今までのトイレのそばに置いておきしばらくは併用する。



主な活動内容

- ・犬、猫の不妊手術の啓発推進活動
- ・犬、猫の不妊手術のサポート活動
- ・行き場のない犬、猫の飼い主探しの仲介
- ・子供の健全育成を育む活動
- ・犬、猫の育て方、しつけ相談
- ・地域社会での交流の場の提供
- ・CAPP活動(人と動物とのふれあい、訪問活動)



不用品提供のお願い

未使用切手、はがき、洗剤、古タオル、キャットフード、ドッグフード、浴衣や風呂敷などの木綿の布地

そのほか、バザー用品(衣類は、未着用のものに限ります)

このような不用品がありましたら、ぜひご提供をお願い申し上げます。



寄付のお願い

ワンニャン会の活動は、皆様の寄付によって支えられております。

賛助会員の募集もお願いしております。

ご不明な点などありましたら、お問い合わせください。

賛助会員年会費

- ・賛助会員 3000円
- ・団体賛助会員 10000円

振込先

郵便振替 口座番号 01080-7-36215

ワンニャン会 代表 中本宣子



2020・09

	会 報	
	第 14 号	

N P O法人 ワンニャン会事務局

携帯電話 090-5369-7855

ワンニャン会ブログ

<http://blog.murablo.jp/wannyankai/>



